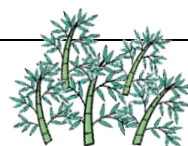


群竹



◇新年度が本格的にスタート

始業式・入学式から2週間が経ちました。先週後半からは教科の授業も本格的に始まり、各教室では、生徒たちが真剣な態度で熱心に学習に取り組む姿が見られました。また新たに本校の生徒となった1年生も、徐々に中学校生活に慣れ、明るく元気に過ごしており、まずは一安心といった状況です。



1年保健体育の授業から

とはいえ、これから学校生活の疲れも蓄積してくる時期です。引き続き、それぞれの生徒が充実した学校生活を送れるよう指導していきます。

◇いじめ0(ゼロ)に向けた取組

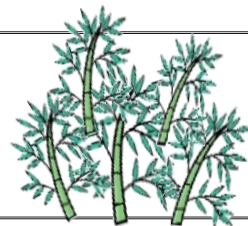
4月19日(月)第1校時、全学年・全学級一斉に学級活動の時間を設け、いじめをなくすための取組について話し合い、各学級の「いじめ0宣言」としてまとめました。この宣言を来月の全校朝会で発表し合い、学校全体でまとめて、田沼東中学校の「いじめ0宣言」とします。そして生徒たちは、この宣言に基づき、いじめを0にする取組を実践していきます。(宣言の具体的な内容は、5月の全校朝会后にお知らせします。)

◇群竹の心

入学式の校長式辞で述べた本校の伝統である「群竹の心」を紹介します。

「群竹の心」

柔軟でありながら 強靱
しかも 地下でしっかり 手を握りあう
これぞ われらの象徴 群竹



「群竹」とは、たくさんの竹が群がって生えていることを言います。

竹は、他の竹の根っこと絡み合いながら、縦に横に丈夫な根を張ります。その根から養分を得た竹の子は、他の竹の子と競い合って伸びます。自然の厳しさを耐え抜き、節目をいくつも重ねて立派な竹に育っていきます。強い風が吹くと、竹は大きく揺れますが、この節があるために決して折れることはありません。

竹のように、困難にも決して折れずに逞しく、仲間とがっちり手を握り合い、支え合い、時には競い合いながら成長していく、そのような田沼東中生徒として、成長してほしいという願いです。

(関連して、裏面に今年度の学校教育グランドデザインを掲載しました。)

教育目標・目指す生徒像

自他の生命と人格を尊重し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指す。

- 【ひ】 ひろく、豊かな心を育てる生徒（徳）
- 【が】 がんばりぬく気力と体力を養う生徒（体）
- 【し】 しんけんに学習し、学力を高める生徒（知）

群竹の心

柔軟でありながら 強じん
しかも 地下で しっかりと手を握りあう
これぞ われらの象徴 群竹

目指す学校像

認め合い、支え合い、磨き合い、活力のある学校
生徒一人一人にとって明日が待たれる学校

本年度の重点実践課題

教職員 生徒

- 1 学力向上～新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導と評価の工夫～
教 資質・能力の「3つの柱」＝「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」
「学びに向かう力・人間性等」の育成と3観点の評価の工夫
生 学び方を学ぶ、主体的な学び＝アクティブ・ラーニング
- 2 生徒一人一人が生きる生徒指導と特別支援教育
教 「わたしも あなたも大切な存在」を実感できる学級・学校＝不登校対策
安心感と分かりやすさ＝あの子の支援が学級の安心、分かりやすさに
生 自己実現のために＝「当たり前前」のことが「当たり前」にできる田東中生
「いじめ0（ゼロ）宣言」「田東中プライド」⇒自己指導能力の育成
- 3 豊かな心を育む教育環境 ～教師自身が最大の教育環境～
教 教師の仕掛け（学級開き・三人行事・卒業式等）
考え議論する「特別の教科 道徳」の指導と評価の工夫
「人・もの・こと」とのかかわり＝ボランティア等を生かした教育活動
生 感動と勢いのある学校行事（運動会、群竹祭、長距離走駅伝大会…他）⇒
自尊感情、自己肯定感、自己有用感、他者理解、達成感、成就感…
- 4 部活動の奨励
教 新型コロナ・熱中症対策も含めた指導の工夫、たくましい心と体の育成
生 人間関係、技術、悔しさ、嬉しさ、達成感…を学ぶ⇒自信へ

調和のとれた学校経営の推進

教職員の資質の向上

生命尊重・人権尊重の教育の推進

- 昨年度までの「人権教育研究指定校」の研究推進を継承した取組
- ・生徒一人一人にとって明日が待たれる学校
 - ・互いのよさや違いを認め合い、励まし合い、高め合える人間関係
 - ・いじめはしない・させない・見逃さない
 - ・共生の心の育成